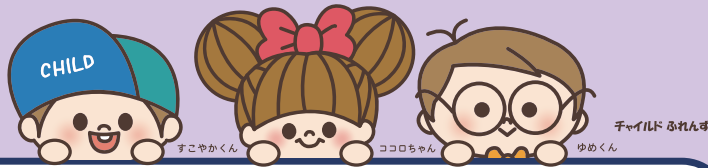


選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



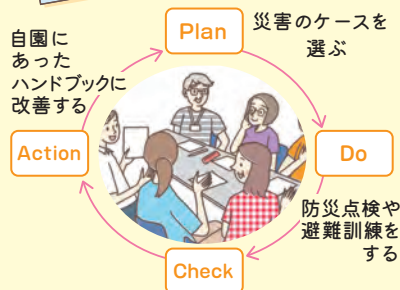
「自然災害への備え」

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。チャイルドグループの各事業部のノウハウを Q&A 形式でお届けします。

この度の豪雨災害において被災された被害者の皆様ならびに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

Q 自然災害に備えて、今、園で出来ることを教えてください。

毎年のように、全国各地で豪雨による水害・土砂災害等のニュースが伝えられていますが、どのような対策をとったらよいでしょうか？



防災点検や避難訓練をふりかえり解決策を考える(みんなで話し合う)

A 今の時代に合わせた備えが、早急に必要です。

令和5年版「防災白書」(内閣府)によると、地球温暖化が続いた場合、気候災害の更なる激甚化・頻発化が予測されています。従って、最近の事象を踏まえた災害対策の見直しが喫緊の課題と云えます。ここではポイントを4つご紹介します。

まずは、最新の「ハザードマップ」を確認して、園の所在地や周辺地域の災害リスクを把握の上、既存の「防災マニュアル」「危機管理マニュアル」の内容が本当に適切か否かを検証ください。場合によっては、避難場所や避難経路の見直しが必要になるかもしれません。一般的な防災グッズに加えて、災害用発電機や避難車を備えておくこと更に安心です。

また、災害発生時の連絡・情報共有には、ICTシステム(「一斉メール」や「災害時伝言板」等の機能)の導入が極めて有効です。速やかに、保護者と災害情報を共有することで、適切な対応や避難を行うことが出来ます。避難後の連絡・安否確認にも活用できます。

いずれにしても、防災対策を有効なものにするには、定期的な避難訓練と防災点検の実施が必要不可欠です。その都度、振り返りミーティングを行い、職員間で改善点を話し合うことが大切です。

最後にお伝えしたいことは、「地域との連携」です。限られた数の職員で子どもたち一人ひとりの命を守らなければならない園にとって、地域の方々の協力は大きな力となります。いざという時に、日頃からの地域(近所、町内会長、避難場所、消防関係者等)とのコミュニケーションが問われます。



自然災害は予測困難ですが、事前の準備と対策により被害を最小限に抑えることが可能です。園児と職員の命を守るために、今、アクションを起こしましょう。

事業部紹介

株式会社 幼保経営サービス コンサルティング部

チャイルド社グループの幼保経営サービスだからこそできる経営コンサルで園を強力にサポートしています。

①経営・運営コンサル ②マーケティング・ブランディングコンサル ③新園・新施設設立コンサル ④認定こども園移行コンサルなどに関して、分析・助言・提案・サポートを行っています。



株式会社 幼保経営サービス

コンサルティング部 ディレクター 東京弁護士会所属 柴田 洋平(弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

